

I. 主に取り組んだ事業（特記事項）

1. 本学のグローバル化に向け、交流協定学校の一つ台湾の国立体育大学への短期研修の実施（9 月）、オーストラリアのニューサウスウェルズ大学との覚書締結（11 月）、ハワイへの短期語学研修（3 月）を実施した。
2. 英語教育において英語プレイスメントテスト（1 年次対象）と英語アチーブメントテスト（2 年次対象）を統一し、また日本語教育では、4 月と 10 月 J CAT テスト（筑波大学提供）を実施し、学生の語学力の伸長をより明確に把握できるようにした。
3. 本学の英文ホームページの更新にあたり英文校閲等に協力した。また公開講座やスポーツアカデミーの支援等をとoshi、地域および社会に貢献した。

II. 事業報告

1. 国際交流・グローバル化プロジェクト

- ① 7 月上海体育学院からの短期研修の受け入れを予定したが相手校の都合で実施できなくなったため、9 月末台湾の国立体育大学への短期研修を実施した。
- ② 6 月オーストラリアの大学での短期研修開発のためシドニー大学等を訪問し、12 月オーストラリアのニューサウスウェルズ大学グローバルと覚書を締結した。締結に合わせ、現地で学生のトライアル研修を実施した。
- ③ 3 月ハワイの短期研修を実施した。
- ④ 本学のグローバル化を推進するため、講演会を開催した（6 月小川仁志氏）。
- ⑤ 国際交流係と連携し、留学説明会（6 月）や留学生の日本文化体験及び留学生支援交流会（11 月）を実施した。
- ⑥ センターニューズレター第 35 号（最終号）を発行し（11 月）、また Facebook の運用改善を図った。

2. 教育プロジェクト

- ① LL1 教室（センター 1 階）の CALL システムを撤去し、タブレット端末等を活用できる教室に改修した。
- ② 英語プレイスメントテストを実施（平成 30 年 4 月 2 日）し、クラス分け、平成 30 年度入学生の英語力分析等に活用した。
- ③ 2 年生のアチーブメントテストとして CASEC テストを実施（平成 30 年 11 月）し、データを学生の英語力分析に活用した。
- ④ A0・推薦合格者に対する入学前教育（英語）を実施（平成 31 年 1,2 月）し、またアドミッションセンターと入学前教育の教材を提供する業者と三者で、今後の実施（タブレット端末の活用等）について話し合いを持った。
- ⑤ 留学生対象日本語プレイスメントテストを J-CAT を利用して実施し（4 月、10 月）、日本語補講のレベル分け等に活用した。
- ⑥ 留学生オリエンテーション（4 月 23 日、10 月 18 日）、留学生チューター研修会（4 月 24 日、10 月 18 日）を実施した。

- ⑦ 留学生対象日本語補講(4/11 ～7/25 日、10/2 ～2/28 日))を開講し、また外部講師の希望教材等も揃え日本語教材を充実させた。
- ⑧ 「いんぐりっしゅ☆ る～む」を学生および教職員を対象に全 13 回、TOEICIP テストを年 5 回実施した。

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト

- ①公開講座「Short Story Creation--簡単な物語を英語で作って、発表しよう!」を平成 30 年 5 月 9 日(水)～6 月 6 日(水)全 5 回開講した。(国重・エルメス)
- ②教員免許更新講習『「Rediscovering the Power of English」～英語に対する見方を変えてみよう!』を 8 月 24 日に実施した。(国重・エルメス)

III. 決算報告

1. 国際交流・グローバル化プロジェクト関係

区分	金額	備考(使用内容)
人件費	千円	
物件費	千円	
その他	千円	
計	千円	

2. 教育プロジェクト関係

区分	金額	備考(使用内容)
人件費	0 千円	
物件費	1,062 千円	LL2 教室の整備(スクリーン、ホワイトボードシート、壁の塗装等), LL1 教室のウィルス対策、英語教材、英語多読図書、留学生日本語教材
その他	1,012 千円	英語テスト(新入生 4 月、2 年次 11 月)実施 LL1 教室の保守点検費
計	2,073 千円	

3. その他

区分	金額	備考(使用内容)
人件費	0 千円	
物件費	56 千円	ニューズレター発行
その他	32 千円	郵便料、小荷物運送料
計	88 千円	

IV. その他

1. 発刊物

国際交流センター(IELEC)ニューズレターNo.35(最終号)を発行(11月)した。

2. 開催会議状況

センター会議を4/17日、5/23日、6/20日、7/25日、10/1日、11/14日、12/12日、1/16日、2/13日開催した。

3. 広報活動

- ① センターのニューズレターを県内高校、国内大学等機関、海外の交流協定校へ郵送した。
- ② センターの Facebook を利用し、センター事業の広報に努めた。
- ③ 短期研修等の海外引率時や学外受講者対象の講座等で、ニューズレター等を配布し広報につとめた。
- ④ 本学の英文ホームページの更新にあたり、英文校閲に協力した。

4. センター利用促進策の成果

前年度改修し今年度スクリーンやホワイトボードシート等設置して整備した LL2 教室（2階）は、公開講座や留学生オリエンテーション、センター会議等で活用した。また LL1 教室（1階）は、年度末 CALL システム（パソコン、モニター等）を撤去し、学生のタブレット端末を活用する教室へと改修され、今後の学内での活用が期待される。

5. その他